

知的資産経営報告書

令和4年8月31日版

岐阜県信用保証協会

I. はじめに	→P.02
II. 知的資産経営報告書策定の目的	→P.03
1) なぜ今、取り組むのか？	
2) 経済危機と保証協会の変化	
3) 業務体制（ライフステージに応じた支援体制）	
4) 策定の流れ	
III. 岐阜県信用保証協会の知的資産	→P.07
1) 人的資産	
2) 構造資産	
3) 関係資産	
4) 風土資産	
IV. 現在の価値創造ストーリー	→P.11
V. 経営環境の変化と影響（予測）	→P.12
VI. 将来の価値創造ストーリー	→P.13
VII. おわりに	→P.15
(資料) 協会概要	→P.16

1) 人的資産

人的資産とは・・・組織活動において、人に依存している資産

信用保証制度の円滑な運営に必要な知識・ノウハウを持った職員

外部機関との関係性構築に必要なコミュニケーション能力のある職員

中小企業融資に特化した知識・ノウハウを持った人材

設立から70年以上、中小企業者向け事業性融資に特化
⇒保証審査から条件変更・再生・回収まで、幅広く専門的な知識を有す

財務資料における読解力・分析力を持った人材

保証・条件変更・代位弁済審査等は主に提出される書面により実施
⇒申請書類や財務資料を基に読解力・分析力を活かした審査を実施

交渉力・対話力・質問力・傾聴力を持った人材

相手の考えを聞きながら、自らの意見も主張し、問題解決を目指す職員
⇒左記コミュニケーション能力を有す

顧客支援に意欲のある人材

顧客の声に耳を傾け、顧客とともに問題解決・発展を目指して活動したいと願う職員がいる
⇒自発的に自己啓発に取り組む姿勢有す
⇒中小企業診断士、行政書士、社会保険労務士、宅地建物取引士、経営アドバイザー…等多数の有資格者が在籍

多数の有資格者



